

日本史

1

解答

問1. エ 問2. ウ 問3. イ 問4. エ

問5. イ・エ 問6. オ 問7. エ 問8. ア・ウ

解説

《古代の税制と地方行政》

問1. エ. 部曲の廃止は675年である。イ・ウ・オは持統天皇の時代の出来事。

問2. ア. 誤文。皇朝十二銭に富本銭は含まれない。皇朝十二銭は708年鑄造の和同開珎から958年鑄造の乾元大宝まで。

イ. 誤文。「乾元大宝」ではなく、開元通宝が正しい。

エ. 誤文。庸は京・畿内では課されなかったもので、「調と庸を銭で納めさせた」は誤り。

問3. ア. 誤文。「約3割」ではなく、約3%が正しい。

ウ. 誤文。「雑徭」ではなく、歳役が正しい。

エ. 誤文。「良民男性」ではなく、正丁が正しい。

問4. 難問。エ. 誤文。④の「御所」は建物の呼称ではなく、安倍大刀自(長屋王の側妻)に対する敬称で「おんところ」と読む。長屋王邸に同居していたため、長屋王邸からこの木簡が出土した。したがって、「内裏の御所に住んでいた」は誤り。

問8. 下線部(8)は「規定の出挙のほかに不当な貸し付けを行って利息を納入させたことについて裁断してほしい」という意味である。

2

解答

問1. ウ 問2. ウ 問3. エ 問4. オ 問5. ウ

問6. ア 問7. エ 問8. イ

《戦国大名と分国法》

問1. 難問。朝倉氏は斯波氏の被官で、越前国に所領を与えられていた。

問2. ア. 今川氏の城下町は駿河の府中（現在の静岡市）。イ. 上杉氏の城下町は春日山（現在の新潟県上越市）。エ. 大友氏の城下町は豊後の府内（現在の大分市）。オ. 島津氏の城下町は鹿児島。

問4. 原文には「駿遠」と記されている。

問7. 『塵芥集』は171条で、分国法中最多の条文数をもつ。

問8. ア. 誤文。戦国大名は、領国経営の一環として鉱山開発にも尽力した。

イ. 正文。史料Cは、大名の家臣が許可なく他領の者と婚姻関係を結ぶことを禁じている。

ウ. 誤文。『甲州法度之次第』の成立は『今川仮名目録』よりも遅い。

エ. 誤文。「祖父」が誤り。今川氏親は今川義元の父である。

3

解答

問1. ウ 問2. ア 問3. ウ 問4. エ 問5. イ
問6. イ 問7. エ 問8. ア

《江戸初期の外交政策》

問1. ア. 誤文。「新教（プロテスタント）国」ではなく、旧教（カトリック）国が正しい。

イ. 誤文。「サン＝フェリペ号」ではなく、リーフデ号が正しい。

エ. 誤文。安政の五カ国条約にはオランダも含まれている。

問2. イ. 誤文。オランダは対日貿易を継続したので、「対日貿易から撤退し」は誤り。

ウ. 誤文。「平戸に商館を開設した」のではなく、平戸の商館を閉鎖した。

エ. 誤文。インドのゴアを根拠地としたのはポルトガルである。

問4. ア. 誤文。糸割符仲間の結成は五カ所商人に限られたので、「不特定多数の商人に自由に作らせた」は誤り。

イ. 誤文。「秋」ではなく、春が正しい。

ウ. 誤文。「マニラ」ではなく、マカオが正しい。

問5. ア. 誤文。「神道」ではなく、仏教が正しい。

ウ. 誤文。「山田長政」ではなく、高山右近が正しい。

エ. 誤文。「26人」ではなく、55人が正しい。

問6. ア. 誤文。「島原城」ではなく、原城跡が正しい。

ウ. 誤文。「有馬晴信と小西行長」ではなく、松倉氏と寺沢氏が正しい。

エ. 誤文。生田万は1837年の大塩の乱に呼応して乱を起こした。

問7. ア. 誤文。オランダ人と日本人の交流は禁止されたので、「自由な交流が認められた」は誤り。

イ. 誤文。「外国奉行」ではなく、長崎奉行が正しい。

ウ. 誤文。オランダ商館長は江戸参府に際して将軍に拝謁したので、「拝謁できなかった」は誤り。

問8. イ. 誤文。「謝恩使と慶賀使」ではなく、朝鮮通信使が正しい。

ウ. 誤文。「佐渡」ではなく、薩摩が正しい。

エ. 誤文。「明国人」ではなく、清国人が正しい。

4

解答

問1. ア 問2. イ 問3. イ 問4. ウ 問5. イ

問6. エ 問7. ウ 問8. イ

解説

《近代の外交・文化》

問1. イ. 誤文。「片山潜」ではなく、幸徳秋水が正しい。

ウ. 誤文。黒岩涙香は『万朝報』の創刊者で、『国民新聞』は徳富蘇峰が発行した。両紙とも、日露戦争が迫る頃に主戦論を盛り上げた。

エ. 誤文。戸水寛人は「日露戦争反対」ではなく、主戦論（開戦論）を主張した。

問2. ア. 誤文。「戊申詔書」ではなく、教育勅語が正しい。

ウ. 誤文。「イギリス人」ではなく、アメリカ人が正しい。

エ. 誤文。内村鑑三は無教会主義を唱えたので、「日本的教会組織を設立した」は誤り。

問3. ア. 誤文。『舞姫』ではなく、『みだれ髪』が正しい。

ウ. 誤文。「夫の与謝野鉄幹」ではなく、正岡子規が正しい。

エ. 誤文。「夫を思う妻」ではなく、弟を思う姉の心を歌ったものである。

問4. ア. 誤文。「内債が外債を上まわった」のではなく、外債が内債を上まわった。

イ. 誤文。「フランクリン＝ローズヴェルト」ではなく、セオドア＝ローズヴェルトが正しい。

エ. 誤文。「北緯 50 度以北」ではなく、北緯 50 度以南が正しい。

問 5. ア. 誤文。「栃木県」ではなく、群馬県が正しい。

ウ. 誤文。「佐世保」ではなく、大阪が正しい。

エ. 誤文。「大阪」ではなく、横浜が正しい。

問 6. ア. 誤文。「狩野探幽」ではなく、狩野芳崖が正しい。

イ. 誤文。「白馬会」ではなく、日本美術院が正しい。

ウ. 誤文。「ドイツ人のベルツ」ではなく、アメリカ人のフェノロサが正しい。

問 8. ア. 誤文。「女」ではなく、「老猿」が正しい。

ウ. 誤文。『青鞥』の表紙をデザインしたのは、高村光太郎の妻の高村（長沼）智恵子である。

エ. 高村光雲ではなく、息子の高村光太郎の説明文である。

5

解答

問 1. エ 問 2. イ 問 3. ア 問 4. ア

解説

《石油危機》

問 1. ア. 不適。フランスで学生運動をきっかけに広範な社会的異議申し立て運動がおこったのは 1968 年（五月危機・五月革命）で、翌 69 年にド・ゴールは辞任した。

イ. 不適。アメリカでキング牧師らを指導者とする公民権運動が高まったのは 1960 年代。

ウ. 不適。中国で「大躍進」運動が推し進められたのは 1958 年から。

オ. 不適。ベトナムが東南アジア諸国連合（ASEAN）に加盟したのは 1995 年。

問 3. イ. 誤文。イギリスのサッチャー政権（任 1979～90 年）は福祉国家型の経済政策からの転換を図り、国営企業の民営化や社会保障の削減などをおこなった。

ウ. 誤文。アメリカが 1971 年に金ドル本位制を停止したのを機に、ドルを基軸通貨とする国際通貨体制（ブレトン＝ウッズ体制）は崩壊した

(1973年)。

エ. 誤文。中国で科学技術の革新など改革開放路線を推進したのは鄧小平である(1978年～)。

問4. イ. 誤文。1980年代の石炭エネルギー依存度は20%近い状態が続いた。

ウ. 誤文。軽工業から重化学工業への転換が進んだのは1950～70年代である。

エ. 環境庁(現環境省)が設置されたのは1971年。